

## REDUCE リデュース【ごみを減らす】 【不要なら断る】 REFUSE リフューズ

ごみになるものをできる限り買わない、家に持ち込まないようにすることが大切です。買い物をするときは、その商品が本当に必要なものかどうかよく考えてみましょう。

断ることはとても大切です。もらわなければ、ほかに必要としている人に役立ててもらえます。

いらぬものは、たとえ無料でも断る。この精神がごみを減らします。

# 4つのRで ごみを減らそう

「ごみ」は「家から出せば終わり」ではありません。リサイクルできないものや燃えるごみの焼却灰は、埋立地で最終処分されます。埋立地の延命のため、ごみの減量を図ることが必要です。

向日市で家庭から出るごみの量は、1年間で約1万3千トン、市民1人当たり230kgにもなります。

ごみを減らす4つのRを実践して、循環型社会の構築に向けて一歩を踏み出してみましょう。

使い終わったものをごみとして捨てる時は、大切な資源として生かせるよう、ルールに従って分別し、リサイクルルートに乗せましょう。

### 実践してみましょう

- ごみ減量推進協力店(環境にやさしい店)を利用しましょう。
- 包装の少ない物を選び、不要な包装は断りましょう。
- ほかのもので代用できる使い捨て商品は買わないようにしましょう。
- 修理して使いましょう。
- 詰め替え用を買うようにしましょう。
- 繰り返し使える「リターナブル容器」の商品を選びましょう。

ものを作るときに多くの資源を使うことを考えると、ものは捨てるのではなく、長く、大切に使わないといけません。繰り返し使えるものを選び、本当に使えなくなるまで捨てないようにしましょう。

## RECYCLE リサイクル【再び資源として】 【繰り返し使う】 REUSE リユース

### フリーマーケット リサイクルひまわり市



**10月15日(日)**  
午前10時～午後1時(雨天の場合中止)  
**向日町競輪場**  
家庭で使わなくなったものを、必要な方に販売することで、物を大切にすることを育みます。  
※当日はたいへん混雑しますので、お車での来場はご遠慮ください。

### 10月はマイ・バッグキャンペーン月間です

商店などでもらうレジ袋の日本での年間消費量は1人当たり約300枚といわれています。「レジ袋」を自粛し、「買い物袋」を持つことは、ゴミの減量や原料となる石油など資源の保全にもつながります。買い物される際には、「買い物袋」を持って出かけましょう。



お問い合わせ 環境政策課 環境対策係(内線232)

### 「向日市国民保護計画(素案)」に対するご意見をお寄せください

国民保護法は、我が国が万が一、武力攻撃事態などにさらされた場合、国、都道府県、市町村、指定公共機関などが相互に連携・協力して、国民の生命、身体および財産を守る仕組みを定めたものです。

市では、いかなる事態においても、市民の皆様の安心・安全を確保する責務があり、現在、国民保護法や京都府の計画に基づき、向日市国民保護計画の策定を進めています。

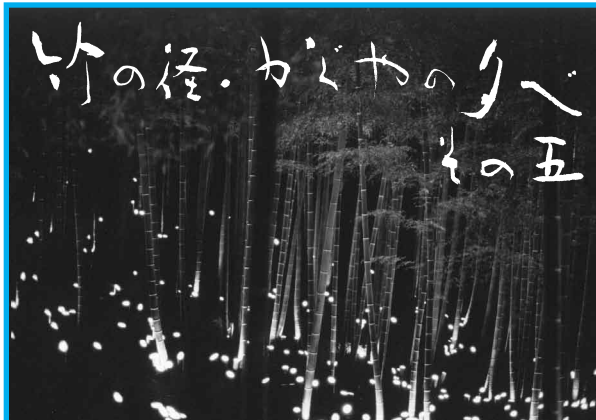
ついては、この計画(素案)に対する市民の皆様のご意見を募集します。

ご意見については、向日市国民保護計画の策定に当たり参考にするとともに、向日市の考え方を整理し公表します。

なお、個々の意見に直接回答はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

- 募集期間/10月2日(月)～31日(火)(必着)
- 必須記入事項/タイトルを『向日市国民保護計画(素案)』への意見とし、住所、氏名、意見本文をお書きください。
- 提出方法/郵便(〒617-8665 向日市役所)、ファックス(922-6587)、(電子メール kankyo@city.muko.lg.jp)のいずれかの方法で環境政策課までお送りください。様式は自由ですが、ホームページ上に掲載している「ご意見記入用紙」をよろしければお使いください。  
※電話での提出はご遠慮ください。
- 資料の公表/「向日市国民保護計画(素案)」を市役所環境政策課および情報公開コーナー、各公民館・コミセン、図書館、市ホームページでご覧になれます。

お問い合わせ 環境政策課防災安全係(内線249)



### 10月21日(土)

午後5時30分～8時30分  
【雨天の場合は10月22日(日)同時刻】

### 「竹の径」と第6向陽小学校周辺

※必ず、懐中電灯をお持ちください。駐車場はありません。「竹の径」へは徒歩でお越しください。

主催 向日市観光協会  
(事務局 向日市産業振興課内・内線241)

HP <http://www.muko-kankou.jp>